

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 30 年度

市町村名	志木市					
提案事業名	おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト					
事業期間	29年度 ～ 29年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 減塩意識が向上した人の割合					
	(成果検証の具体的な方法) おいしく減塩！「減らソルト」フェスタ参加者にアンケートを実施する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (29年3月現在)	—	目標値 (29年11月時点)	70%	実績値 (29年11月時点)	96%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページに掲載する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成29年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト取組推進事業	○△×	減塩レシピや減塩の必要性、コツを広報誌に掲載。さらに減塩に関するリーフレットを作成し配布することによって、減塩の大切さを広く市民に周知し減塩への取組が広がるよう努めた。 また、民間企業や大学など産学官民と連携を図りながら、継続的かつ地道な活動を展開した。
② おいしく減塩！「減らソルト」フェスタ	○△×	プロジェクトの一環として、料理研究者による減塩トークショー、企業による食育講座、大学によるチェアアクササイズなど、子どもから高齢者まで各世代が参加できるコンテンツを揃えた、「食」と「健康」と「運動」がテーマのフェアを開催した。 (開催：平成29年11月23日 参加者904人)
③ 減塩教育事業	○△×	公立保育園や市内小中学校において減塩給食を実施し、ババママ学級や離乳食教室において減塩教育を実施することによって、学校や家庭との連携を図りながら子どもたちの正しい食習慣を形成できるよう努めた。 また、特定健診（集団）に推定摂取食塩量検査を導入し、結果を受診者に示すことで、塩分を「見える化」し、減塩への意識啓発を促した。
④	○△×	
⑤	○△×	
⑥	○△×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	おいしく減塩！「減らソルト」フェスタ参加者に対しアンケート調査を実施したところ、「減塩意識が高まりましたか？」という設問に対し、「高まった」（75%）、「どちらかといえば高まった」（21%）という方が、全体の96%であった。民間企業、学校、家庭との連携を深め、さまざまな事業を通じて、市民の減塩意識を高めることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	

<p>成果検証を踏まえた 今後の改善策</p>	<p>塩分はあらゆる料理に使われていることから、摂取量を把握することが難しく、自分がどのくらい減塩しているのか漠然としている。そのため食塩摂取量や血圧等の数値から、減塩を進めていく取組も必要となる。今後もより多くの市民に減塩の大切さを周知し、減塩への取組が広がるよう努めていく。</p>
-----------------------------	---

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない